

モバイル用に固定用にお使いください。

AK-3 アラーム/スタンバイ“K”

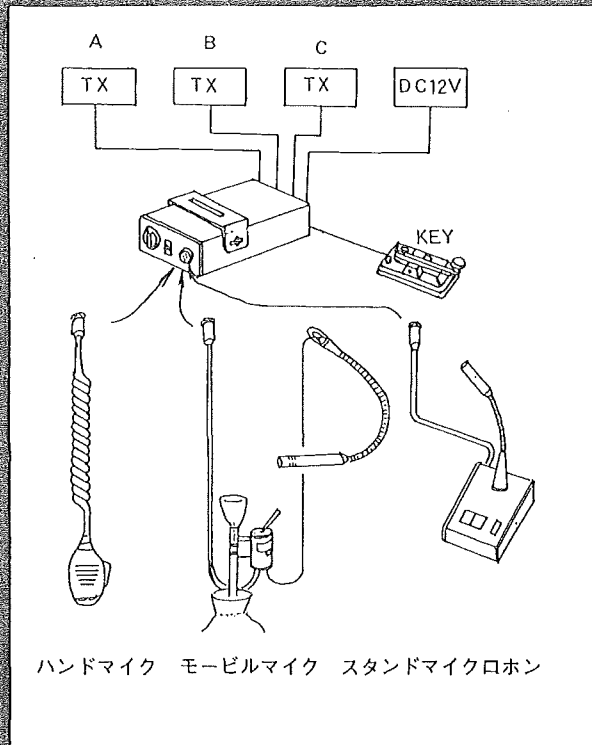
マイク切換スイッチ+無変調防止回路+スタンバイ“K”+モールス練習機

☆本機1台で、3台の送信機がコントロールできます。

☆無変調防止のためにアラーム回路が内蔵されています。

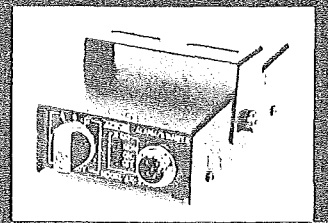
☆従来のスタンバイピーの音の代わりに数種類のモールス符号の発射が可能です。

☆モールス練習機としても御使用になれます。



—AK-3仕様—

- トランジスタ……1
- IC………4
- ダイオード………10
- 出力インピーダンス……500Ω～100KΩ
- 電源………+12VDC
- 消費電流………30mA
- スタンバイ方式……トランジスタ式
- 外形寸法……77(W)×136(D)×35(H)
- 重量………450g



¥9,800

☆ 特 徴 ☆

● 3台のリグをワンタッチで切換可能

3台のリグのマイクがロータリースイッチで切換えられます。シャックの机の上の整理に、又車中のダッシュボード廻りの整頓に役立ちます。

● 無変調防止回路内蔵

送信後3分経過するとアラームが鳴り出し約30秒後に自動的に受信状態になり、無用の電波の発射の防止になります。

● スタンバイ“K” (モールス符号で「どうぞ」の意味)の発射可能

本機は従来のスタンバイピーの音をさらにIC回路によりモールス符号の“—・—” (モールス符号のKで“どうぞ”の意味)をスタンバイの終りに発射します。遠距離通信 (特にSSB時) 時にスタンバイの有無をはっきり知ることが出来ます。又、ダイオードの追加によって簡単に他の符号 (A, B, C, D, E, F, G, H, I, K, L, M, N, O, P, R, S, T, U, V, W, X, Z及び5)に変更可能です。

● モールス練習機としてご使用になれます。

特
約
店

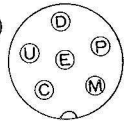
ADONIS アドニス電機

〒573-01 大阪府枚方市長尾家具町1丁目1-10

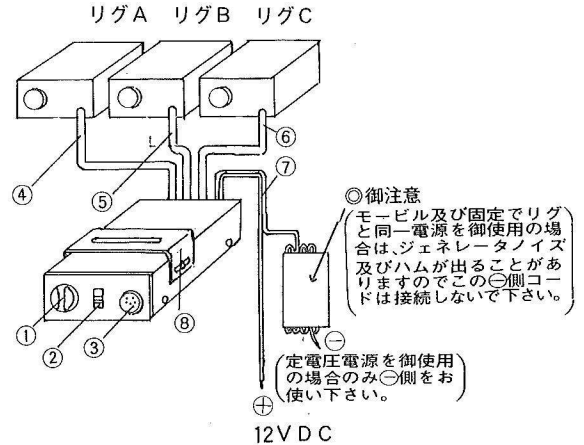
AK-3 取扱説明書(その1)

●各部の名称

- ① MIC出力切換スイッチ
- ② スタンバイシグナル/モールス練習機切換スイッチ
- ③ マイク入力ジャック(6P)
- ④ 出力コード(A)
- ⑤ 〃(B)
- ⑥ 〃(C)
- ⑦ 電源コード(+12VDC)
- ⑧ ブラケット
- ⑨ キージャック

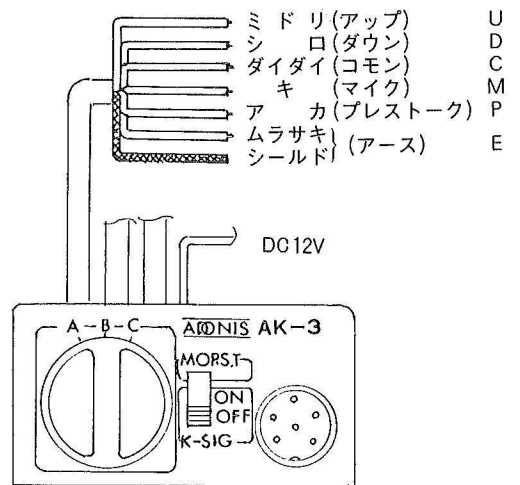


(コード側から見た図)



●準備

- ① 出力コード(4, 5, 6)に、夫々のリグに合わせてコネクタを配線してください。(別紙参照)
- ② マイク入力ジャックは6Pですので図のように付属の6Pプラグと取換えて結線しなおしてください。
- ③ 電源コードをお手持ちの定電圧電源か、又はモバイルの場合は赤線コードのみバッテリーのプラス側に接続してください。
- ④ MIC出力切換スイッチ①を貴局が運用したいリグに合わせて切換えてください。

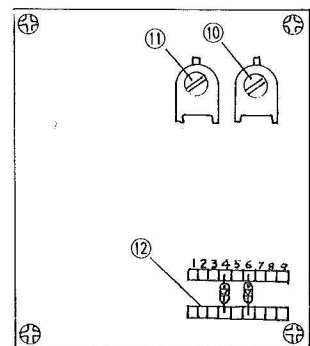
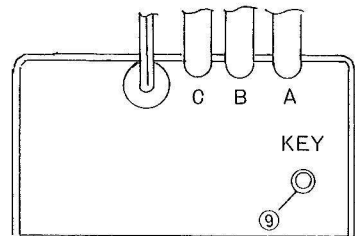


●調整の仕方

- ① スタンバイシグナルの信号の大きさを変えたい場合は半固定ボリューム⑩を廻してください。
- ② 符号の早さを変えたい場合は半固定ボリューム⑪を廻してください。
- ③ モールス符号を変更したい場合は別紙を参考してください。

●アラーム回路について

モバイルマイクロホン及びスタンドマイクロホンはスタンバイスイッチがロック式になっていますので不用意に作動した場合、他局に迷惑をかける恐れがあります。本機はこのような過失によるトラブルを未然に防止し、通常の交信においても長時間(約3分間)送信した場合、アラーム回路が作動し、アラームが約30秒間鳴った後、自動的に受信(但し、アラームは鳴り続けます。)になり、無用の電波の発射を停止します。(リセットする場合はスタンバイスイッチを一瞬作動すれば正常に復帰します。)



(PC板上部より見た図)

●モールス練習機として御使用になる場合

本機の裏面のKEYジャック⑨に電鍵を接続して前面の切換スイッチ②をMORS.Tの位置にしてください。

●御注意

- アイコム製リグ、IC-251, 255, 255J, 260についてはそのまゝでは使用不可能ですので当社製マイクアンプ(利得30dB) AP-1(¥2,200)を御使用ください。

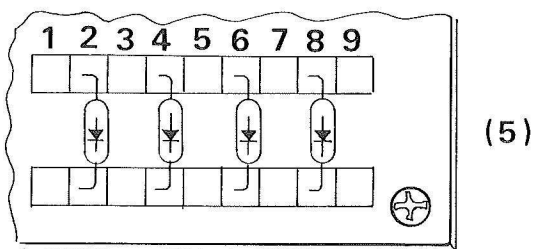
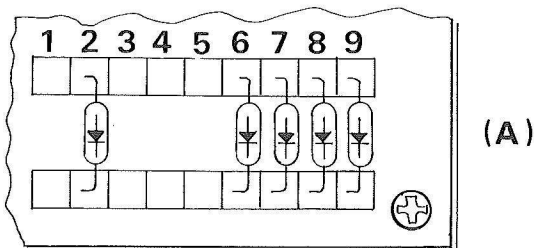
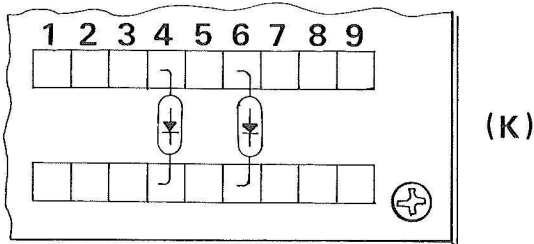
AK-3 取扱説明書 (その2)

● AK-3 スタンバイ信号符号変更要領について

符号を変更したい場合は、左表の○印の位置へダイオードソケット⑫へダイオード(1S1588相当品で附属しておりません)を右図の例にならって極性を間違えないように挿入してください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A		○				○	○	○	○
B				○		○		○	
※C			○		○			○	
D				○		○		○	
E	○	○	○	○	○	○	○	○	○
F	○		○					○	
G			○					○	
H	○		○		○		○	○	
I	○		○		○		○	○	
J									
K				○		○			
L	○				○			○	
M			○					○	○
N			○		○		○	○	○
※O			○			○			○
※P	○			○				○	
Q									
R	○				○			○	○
S	○		○		○		○	○	○
T			○	○	○		○	○	○
U	○		○					○	○
V	○		○		○				
W	○				○				
※X		○		○		○			
Y									
※Z		○			○			○	
5	○		○		○			○	

挿入例



※；符号は原則として短点と長点の比が1：3でなければなりません。上表の※印の記号のC, O, P, X, Zについては比が1：2ですが、本来スタンバイは交信時の補助的信号ですので実用上支障ないと思います。尚、J, Q, Yについては回路上符号として作成出来ませんので御了承ください。

● マイクコンセント接続要領 (コード側から見た図)

